

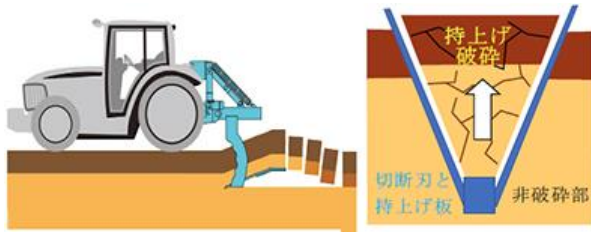
○トラクターに装着してけん引することで、圃場内に幅広な破碎溝を構築することができます。

## 背景・ねらい

- 麦類や大豆、野菜などの畑作物を栽培するには、湿害を避けるために圃場の排水性を高めることが必要である。特に、水田を畑利用する場合は、排水対策は必須である。
- 従来の排水対策である心土破碎・弾丸暗渠は、土壌条件により、深度・破碎強度・効果・耐用性などで適切に施工できない場合があった。
- そのため、様々な土壌でも確実に施工可能な心土破碎機を開発した。

## カットブレーカーの概要

- トラクターのけん引力で土中の30～70cmの任意の深さに、V字状の破碎溝を構築する。
- 破碎溝の構築により透水性と通気性が改善されたことで、根域拡大と湿害回避が期待される。
- 収穫後などに一度施工することで、3年程度は効果が期待できる。



カットブレーカーの概略図

切断刃でV字状に土塊を成形  
+  
持上げ板で土塊を持ち上げて破碎

## カットブレーカー仕様

	カットブレーカー	カットブレーカー mini
適用トラクタ	70～150ps	20～50ps
重量	600kg	200kg
施工刃枚数・深さ	2枚・600mm	1枚・500mm
作業速度	2～4km/h	2～4km/h

## 詳細情報

V字状に幅広な破碎溝を構築する全層心土破碎機「カットブレーカー」

[https://www.naro.go.jp/project/results/4th\\_laboratory/nire/2019/19\\_008.html](https://www.naro.go.jp/project/results/4th_laboratory/nire/2019/19_008.html)

農研機構「カットブレーカー」を用いた営農排水施工技術標準作業手順書」

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/laboratory/naro/sop/155782.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/naro/sop/155782.html)

(株)北海コーキ

<https://hokkai-koki.sakura.ne.jp/>